



湾岸・アラビア半島地域ニュース

オマーン：サイクロン「グヌ」による被害状況

(6月10-11日付現地各紙)

1. 公共サービスの復旧ぶり

- (1) 6月10日、クルム、マディーナ・スルタン、カブース、シャーティー・クルム、北アザイバ、グブラ等マスカット市内北部の多くの地区、及びクラヤット州で水の供給が回復。政府は、UAE から購入した飲用水の配布を商店等で始めたが、マスカット市内一部の地域及びスール州では断水が続いている。又、同市内一部の地域及びクラヤット、スール両州では停電も続いている。
- (2) 10日、公務員の出勤再開と共にマスカット市内で交通渋滞が起きたが、多くの公務員が出勤できなかった模様で、状況の回復は今週末になる見込み。市内中央部のクルムからダールセイトへ向かう高速道は、一部の橋の崩落により通行不能となっている。

2. 政府要人の動き

- (1) 9日に開催された閣僚評議会緊急会合での声明

国王陛下は、今回の災害を継続的に注視している。

評議会は、マーマリ民間防衛国家委員長、諸閣僚から説明を聴取し、損害の規模及び範囲に鑑みて、復興措置には時間がかかるだろうが、関連機関が被災地域の国民の状況を検証することになる。

評議会は、国民委員会、王立警察、国軍、国王警備隊、各治安機関、慈善協会、マスカット市、マスメディア、その他の政府機関、民間部門、国民の協力に感謝する。

サイクロンの犠牲者の遺族には弔意を捧げる。

ファハド副首相は、サイクロンの通過中、通過後に同胞・友好諸国から受けた連絡に感謝する。

- (2) シャリーファ社会開発相は、マスカット市内(9日)、クラヤット州(10日)の被災地を視察した。

- (3) 10日、ザドジャリー中央銀行総裁の発言

物質的な損害は、何よりも個人に集中している。個人と企業の財産が受けた損害の回復の為、資金供給を通じて、今後数ヶ月は金融機関の仕事が増えだろう。オマーンの金融機関には、同資金供給に対応するに十分な資金量がある。

現時点で物質的損害を算定するのは難しいが、石油精製・ガスといったオマーンの重要な経済部門は、サイクロンによる大きな影響を受けていないので安心してほしい。

大きな損害が生じたのは確かであるが、集計は未だ終わっておらず、統計データの収集中である。個人レベルの物質的損害は重大であり、低地にあった多くの住宅、自動車、商店に及んでいる。

3. 人的被害

死者及び行方不明者の統計については死亡49名、行方不明27名との数字に変わりない。捜索活動は13日まで続く見込み。